

新大病院たより 和 第43号

(標題：中野雄一 元病院長)

平成24年11月26日(月) いよいよ新外来診療棟開院です!

開院によせて

医歯学総合病院長
内山 聖



新外来診療棟が開院しました。平成9年に西病棟建設が始まって以来、東病棟、中央診療棟、今回の新外来診療棟と、15年もの長い歳月を経て新しい新潟大学医歯学総合病院が完成しました。

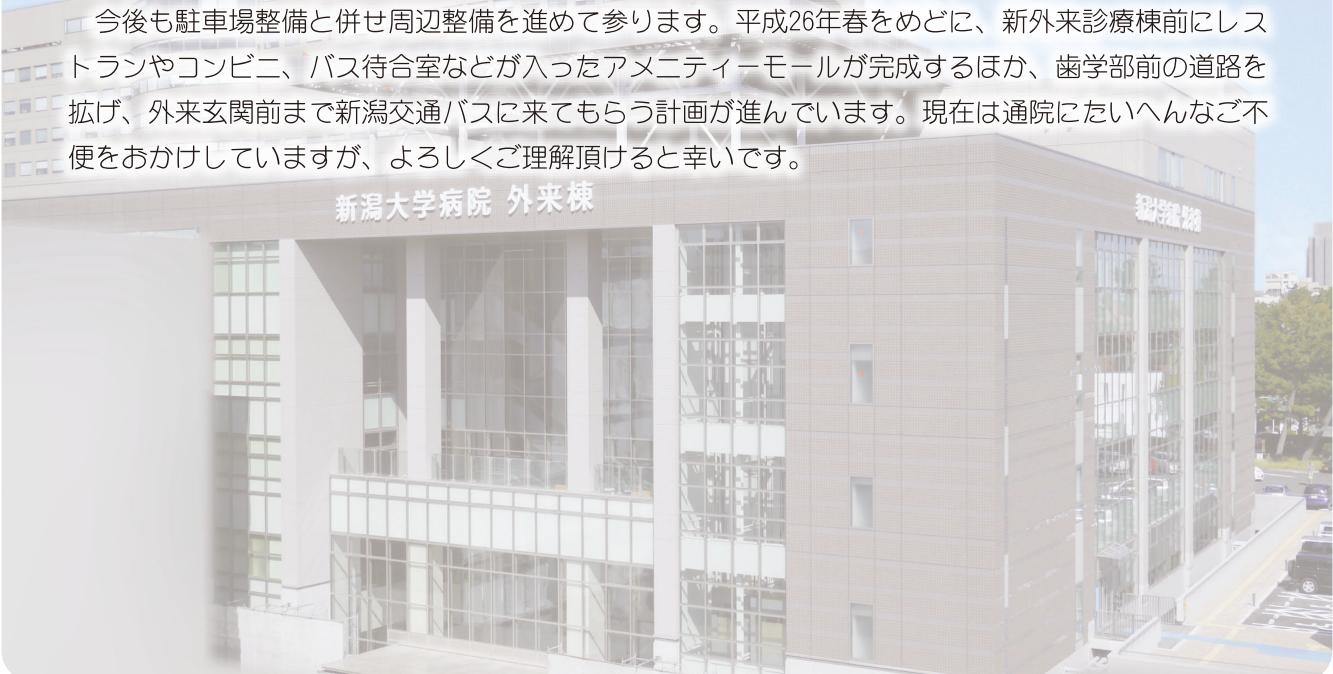
新外来診療棟は患者さんに優しい、わかりやすい病院をめざしました。たとえば、整形外科は放射線画像検査を受けられる方が多いため両部門を同じフロアに、内科は血液検査を受けられる方が多いため、検査部(中央採血室)を隣に配置するなど、患者さんが移動される距離を短くしました。

また、これまでの外来棟は階数表示が中央診療棟や病棟と違っており、私どもでさえも戸惑うことがありました。新外来診療棟では受付階をエントランス階とし、階数表示を病棟に合わせました。診療科の表示も、循環器内科、内分泌・代謝内科など臓器別にしました。エレベーターを複数設置し、エスカレーターも新設しましたので、以前より移動が楽になったのではないかと喜んでいます。なあ、わかりやすいフロア表示や案内表示を心掛けていますが、お気づきの点がありましたら、いつでもスタッフにご連絡ください。

私どもの大学病院は救急医療にも力を入れて参りましたが、新外来診療棟屋上には新潟県が導入するドクターヘリの離発着場が設置され、10月30日に本格運航が始まりました。訓練された医師と看護師が搭乗し、たとえば佐渡でしたら20分足らずで到着して、患者さんの搬送と同時に治療を開始します。新潟県の救急医療にさらに貢献できることをとても嬉しく思います。

今後も駐車場整備と併せ周辺整備を進めて参ります。平成26年春をめどに、新外来診療棟前にレストランやコンビニ、バス待合室などが入ったアメニティーモールが完成するほか、歯学部前の道路を拡げ、外来玄関前まで新潟交通バスに来てもらう計画が進んでいます。現在は通院にたいへんなご不便をおかけしていますが、よろしくご理解頂けると幸いです。

新潟大学病院 外来棟



新外来診療棟を紹介します



平成20年度から建築していた外来診療棟がいよいよ開院します。

新しい外来診療棟では、今まで別々の建物だった医科と歯科が一緒になり、全ての外来患者さんを診察できるようになりました。

待合スペースも広くとり、各診察室前には電光掲示板による診察番号表示を設置するなど、お待ちの間のご不便を解消できるようにいたしました。

新たに生まれ変わった新潟大学医歯学総合病院の外来診療棟をご紹介します。



エントランス階



- 受付・会計／お薬お渡し口
- 食の支援ステーション
- 地域保健医療推進部

- 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 精神科

広々としたエントランスホール



1階



外科系診療科はレントゲン撮影をする放射線部(中央診療棟)の同一フロアに隣接して配置

- 形成・美容外科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 消化器外科／乳腺・内分泌外科
- 眼科
- 放射線治療科／放射線診断科
- 心臓血管外科／呼吸器外科

2階



内科外来の隣には採血室等検査部を配置

- 検査部(中央採血室・尿検査採尿室)
 - 内科
- 循環器内科／内分泌・代謝内科
血液内科／腎・膠原病内科
呼吸器・感染症内科
心療内科／消化器内科
肝胆膵内科／神経内科／腫瘍内科



3階

- 産科婦人科
- 泌尿器科
- 小児科／小児外科
- 皮膚科
- 麻酔科



各診察室はピカピカ



小児科では壁やカーテンもかわいらしくなっています

4階

●歯科



最新の歯科用ユニットを導入しました

5階

●歯科／歯科外来手術室等



そして屋上にはヘリポートがあります

診療科名が変ります

新外来診療棟の開院を機に、本院の一部の診療科名が変ります。
体の部分ごとの分類とするなど、より分かりやすい科名となりました。

旧診療科名

循環器内科、内分泌代謝・糖尿病内科、血液内科 (第一内科)
腎・高血圧・糖尿病内科、呼吸器内科、 感染症内科、膠原病内科、心療内科 (第二内科)
消化器内科、肝臓内科、胆道膵臓内科 (第三内科)
神経内科
精神科
小児科
消化器・一般外科、乳腺・内分泌外科 (第一外科)
心臓血管外科、呼吸器外科 (第二外科)
整形外科
形成外科
小児外科
脳神経外科
皮膚科
泌尿器科
眼科
耳鼻咽喉科
産科婦人科
放射線科
麻酔科

新診療科名

循環器内科	配置階 2階
内分泌・代謝内科	
血液内科	
腎・膠原病内科	
呼吸器・感染症内科	
心療内科	
消化器内科	
肝胆膵内科	
神経内科	エントランス階 3階
腫瘍内科	
精神科	
小児科	
消化器外科	1階
乳腺・内分泌外科	
心臓血管外科	
呼吸器外科	
整形外科	
形成・美容外科	3階
小児外科	
脳神経外科	
皮膚科	
泌尿器科	
眼科	エントランス階 3階
耳鼻咽喉・頭頸部外科	
産科婦人科	
放射線治療科	
放射線診断科	1階
麻酔科	
麻酔科	

旧診療科名

旧診療室名

口腔外科	口腔再建外科診療室
	顎顔面外科診療室
	画像診断・診療室
	歯科麻酔科診療室
口腔保健科	予防歯科診療室
	加齢歯科診療室
歯の診療科	義歯(冠・ブリッジ)診療室
	歯の診療室
	小児歯科診療室
噛み合わせ 診療科	歯周病診療室
	義歯(入れ歯)診療室
	矯正歯科診療室

新診療科名

新診療室名

配置階

口腔外科系 歯科	口腔再建外科	配置階 4階 - 5階
	顎顔面口腔外科	
	歯科放射線科	
	歯科麻酔科	
矯正・小児系 歯科	小児歯科・障がい者歯科	
	矯正歯科	
予防・保存系 歯科	予防歯科	
	歯周病科	
	歯の診療科	
摂食機能・補綴系 歯科	冠・ブリッジ診療科	
	義歯診療科	
	口腔リハビリテーション科	

腫瘍内科を開設します!



本院では、臓器別診療体制への移行に合わせて、新しい診療科であります腫瘍内科を開設いたしました。聞きなれない方も、多いと思いますので紹介をさせて頂きます。

がんの治療法には、外科療法、放射線療法、がん薬物療法(化学療法)があり、これらの治療法を単独でまたは組み合わせてがんの治療が行われます。がん患者さんの約半数の方が、がん薬物療法を受けられます。このがん薬物療法を専門に行う診療科が、腫瘍内科です。欧米では既に30年以上前からある診療科ですが、日本ではここ10年の間に、大学病院や総合病院に開設されています。新潟県内では、本院が初めてです。

私たちは、臓器横断的に、5大がん（肺がん、乳がん、胃がん、肝がん、大腸がん）を中心に様々ながんに対するがん薬物療法を行います。原則、外来（通院治療室）で治療を行いますが、入院治療が必要な方は入院の上、

治療を行います。また、がん薬物療法に留まらずに、がん患者さんを、他診療科と協力して、包括的に診療して参ります。特に進行期の方が多いので、院内の緩和ケアチームと連携して、患者さんの苦痛を和らげるよう診療して参ります。がん薬物療法は、分子標的薬の登場もあり、ここ10年で治療成績が飛躍的に進歩しました。また、毎年のように新薬が開発され、がん薬物療法の治療内容はどんどん変わっていきます。一方で、これら分子標的薬により今までに経験しなかったような副作用が出現してくるようになりました。私たちは、最新のがん薬物療法を提供すると共に、適切に副作用をコントロールし、がん診療の向上に努めてまいります。

(腫瘍内科長 西條康夫)

外来診療日案内

医科外来診療日案内 (○: 診療日 ◎: 紹介状のある方のみ) ●: 休診日 ▲: 特殊外来のみ

- ・新来…初めて来院される方の診療日 再来…2回目以降に来院される方の診療日
- ・再来は、原則として予約制です。

※1 精神科新来は予約制です。精神科外来へお問い合わせください。

※2 小児科新来は、平成25年1月から紹介制に移行する予定です。

（三）子供の成長段階、子供の心の発達段階における心の発達段階

新たな診療科名での診療日をご案内します。

歯科外来診療日案内 (○: 診療日 ◎: 紹介状のある方のみ) ●: 休診日

曜日		月	火	水	木	金
科名等		新来 再来	新来 再来	新来 再来	新来 再来	新来 再来
口腔外科系歯科	口腔再建外科 <small>第13回目</small>	○	○	◎	○	○
	顎顔面口腔外科 <small>第24回目</small>	○	○	○	○	○
	歯科放射線科	○	○	○	○	○
	歯科麻酔科	◎	○	◎	○	○
児矯系正歯・歯小	小児歯科・障がい者歯科	○	○	○	○	○
	矯正歯科	○	○	○	○	○
予防・保存系歯科	予防歯科	○	○	○	○	○
	歯周病科	○	○	○	○	○
	歯の診療科	○	○	○	○	○
補綴機能系歯能科	冠・ブリッジ診療科	○	○	○	○	○
	義歯診療科	○	○	○	○	○
	口腔リハビリテーション科	○	○	○	○	○
歯科総合診療部		○	○	○	○	○
インプラント治療部		○	○	○	○	○
顎関節治療部		○	○	○	○	○
摂食・嚥下機能回復部		○	○	○	○	○
あとの健康室		○	○	○	○	●

・新来…初めて来院される方の診療日

再来…2回目以降に来院される方の診療曰

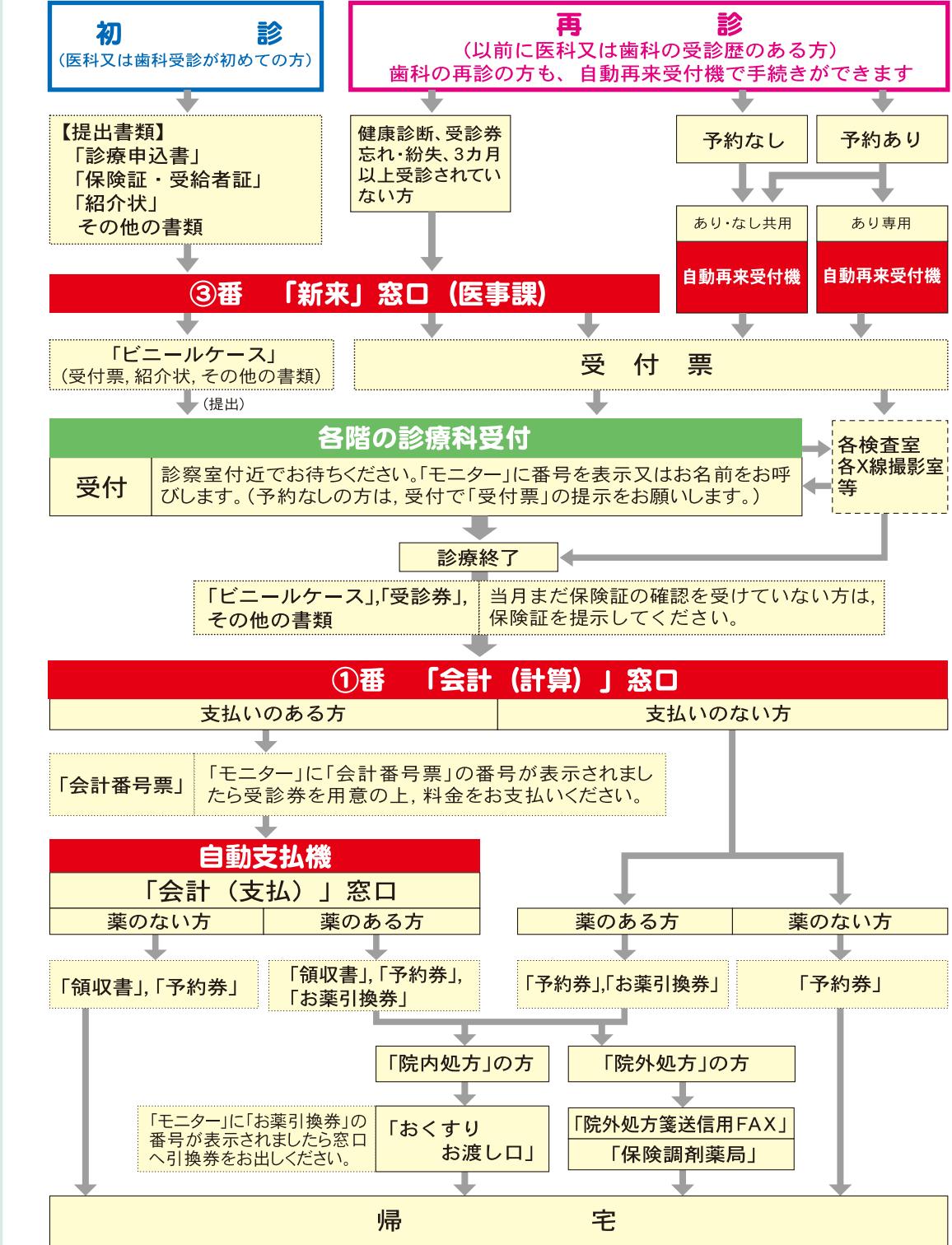
- ・再来は、原則として予約制です。

- ・上記に記載のない特色ある専門外来の診療日については、各専門外来にお問い合わせください。

外来受診手続きの流れ

新外来診療棟では、医科も歯科も同じように受付していただけます。

その一連の流れをご紹介します。



手続きに迷ったら、お気軽に近くのスタッフにおたずねください。

ドクターへリ運航開始!

約一ヶ月の実地訓練を経て、
新外来診療棟の屋上ヘリポートから、
ドクターへリが離陸しました。
新潟県のドクターへリの基地病院として、
安全・迅速な運航で
1人でも多くの患者さんの救命を目指します!



ドクターへリが離陸しました

新潟大学医歯学総合病院は、平成24年10月30日から新潟県ドクターへリの運航を開始しました。ドクターへリはすでに32道府県において38機が運用されており、本県は全国で39機目の運航となります。

ドクターへリの特徴は高い機動性と迅速性にあり、「空飛ぶ救急外来」と言われています。要請から5分以内に、救命救急に必要な資機材を搭載した救急専用ヘリコプターに、救急専門の医師と看護師が搭乗して出動、時速200km以上で直線距離を移動します。約7分で新潟市全域、15分で長岡市や村上市、20分で佐渡市、30分で上越市まで到達することが出来ます。

本県では、119番通報から救急隊が現場に到着するまで平均8.5分、119番通報から病院収容まで平均40分を要する状況になっており、ドクターへリ導入により、救急現場での早期の治療開始と迅速な病院搬送が可能となるため、これまで助けられなかつた命を救うことが可能になると期待されています。ただし、一般的な個人からドクターへリの要請は出来ません。消防機関が病院内に新たに設けられたドクターへリ運航管理室のホットラインを介して要請します。

ドクターへリは全県を対象とし、1年365日、8時30分～17時30分（または日没30分前）まで運航します。この間、病院の新外来診療棟屋上のヘリポートに常駐しています。夜間や天候不良時は運航せず、常に安全第一の運航を心がけています。

ドクターへリの運航にあたっては、病院の患者さん、病院周辺の住民の皆様、県内各地に設けられた臨時離着陸場の近隣にお住まいの皆様に、騒音や風により、ご迷惑をおかけすることになります。出来るだけご迷惑とならないように心がけて運航する予定ですので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（高次救命災害治療センター部長 遠藤 裕）



駐車場のご案内

24.11現在



これまでの外来棟等の取り壊し工事中は、駐車場が一部使用できなくなることがあります。

また、工事の進捗状況によって、使用可能な駐車場が変更になる場合があります。
できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。
ご不便をおかけして誠に申し訳ございません。

新大病院たより「和」のバックナンバーは本院ホームページ
(http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/byouin/08_koho.html) をご覧ください。

発行 新潟大学医歯学総合病院広報委員会
(お問い合わせは総務課総務係 電話 025-227-2407,2408まで)